

2017年8月20日

農林水産省消費・安全局農産安全管理課 御中

食のコミュニケーション円卓会議

代表 市川 まりこ

遺伝子組換えカイコの第一種使用等に関する審査結果についての意見書

**【意見1】**

緑色蛍光タンパク質含有絹糸生産カイコの速やかな承認を希望します。

**【理由】**

- ・競合における優位性に関して、十分な科学的データに基づいており、生物多様性影響が生じる恐れはないと考えます。
- ・カイコとクワコとの交雑に関して、審査ではカイコとクワコとの交雑は起きていないか、極めてまれであると考えられるとしており、心配はないと考えます。
- ・緊急措置計画やモニタリング計画も整備されており、十分な管理体制が取られていると考えます。

**【意見2】**

承認後に関しては、産業振興の妨げにならないように、科学的事実に基づき適切なモニタリングをお願いします。

**【意見3】**

養蚕業は日本を支えた重要な産業ですが現在は衰退しています。遺伝子組換えカイコの実用化、特に遺伝子組換えカイコによる医薬品などの物質生産は養蚕業の復興に止まらず、新たな産業創出に繋がる重要な技術として期待されており、是非進めていただきたいと考えます。

**【意見4】**

消費者及び生産者の利益に資する遺伝子組換え生物の実用化については、科学的根拠に基づき適切に安全性を担保しながらも積極的に進めていただきたいと考えます。

以上